

病床数 **221**床

新所沢駅から徒歩 **8**分

**2023年11月25日(土)**

**新規開院**

社会医療法人社団 埼玉巨樹の会  
**所沢美原総合病院**

〒359-0045 埼玉県所沢市美原町2丁目2934-3  
お問い合わせ **04-2997-8199**

健康な未来を  
**令和健康科学大学**

テクノロジーの進化は医療分野の変化をもたらす。今こそ、先端科学を知る医療人へ。

看護学部 定員数 **80**名  
看護学科 **80**名

リハビリテーション学部 定員数 **80**名  
理学療法学科 **80**名

リハビリテーション学部 定員数 **60**名  
作業療法学科 **60**名

お問い合わせ先 **令和健康科学大学**  
ADD: 福岡市東区和白丘2-1-12 TEL: 092-607-6701

ホームページのご案内

病院の詳細な内容は、ホームページでご覧いただけます。ぜひご参照くださいませ。グループ病院ホームページにもリンクできます。

原宿リハビリテーション病院 **検索**

<https://harajuku-reha.com/>

原宿リハビリテーション病院 広報誌

**原宿タイムズ** Vol.26  
HARAJUKUTIMES

令和6年6月発行

原宿リハビリテーション病院  
日本医療機能評価機構認定病院  
〒150-0001 東京都渋谷区神宮前6-26-1  
TEL 03-3486-8333/FAX 03-3486-8334

原宿タイムズ HARAJUKUTIMES Vol.26 企画・発行所：原宿リハビリテーション病院 広報委員会

原宿リハビリテーション病院 広報誌

# 原宿タイムズ

## HARAJUKUTIMES

コンテンツ

- P1 : 入職式
- P2 : 学術大会/新人研修/事例検討会
- P3-4: 病棟だより/ソフトボール大会/不在者投票
- P5 : 原虎連携会/カンボジア研修
- P6 : 行事食/医事課からのお知らせ

Vol.26



原宿リハビリテーション病院 入職式

## 入職式

原宿リハビリテーション病院として渋谷区の地に根を生やして10年目の春です。令和6年4月1日に、医局1名、歯科医師1名、看護部11名、リハビリテーション科42名、総務課1名の総勢56名の新しい職員をお迎えいたしました。今年には原宿にあるレストランを貸し切り、同じ空間で一室に会しての入職式となりました。松谷院長の挨拶から始まり、辞令交付と職員の紹介が進む中、新入職の皆さんは緊張と希望の入り混じった面持ちで式に臨んでいました。たくさんの新しい仲間を迎えることができ、大変うれしく思います。「手には技術、頭には知識、患者様には愛を」の基本理念のもと、一人ひとりの患者さまを大切にすることを心がけ、患者さまに信頼される病院づくりに励んでいきたいと思います。

総務課 田中

## 第20回 関東カマチグループ学術大会

令和6年3月2日(土)に、第20回関東カマチグループ学術大会が開催されました。学術大会は、関東カマチグループの各病院が研究成果を発表する場です。当院では、「認知症患者の身体抑制の現状と見えてきた課題」というテーマで、ポスター形式にて発表いたしました。病棟における認知症患者の身体抑制の現状についてカルテ分析を行い、解除に向けた取り組みについて考察しました。その結果、ポスター部門で銀賞を頂くことができました。今後も、身体抑制解除率の向上に向けた活動を継続して行ってきたいと思います。

看護師 城間

## リハビリテーション科 新人集合研修

令和6年4月4日(木)に地域交流センター恵比寿にて、リハビリテーション科の新人集合研修を実施しました。医療安全講習ではグループワークとしてKYT(危険予知訓練)を実施し、実際の臨床場面の写真からディスカッションを通してリスク管理への意識を高めました。また感染対策講習では、実際に個人防護服の着脱の実施や嘔吐物の処理方法など、実践的に学ぶことができました。その他にも、レクリエーションを通して新入職者と各階の役職者の親交を深めました。中でもバスダーラインというレクリエーションは、言語を用いずに誕生日順に並ぶもので、不自由さから患者さま視点の気持ちを疑似的に体験できるだけでなく、チームで協力して物事に取り組む姿勢を学ぶことができ、大変良い研修会となりました。

理学療法士 白川

## 事例検討会

医療福祉総合相談室の取り組み

令和6年4月18日(木)に今年度1回目の事例検討会を行いました。事例検討会は毎月1回行っており、医療ソーシャルワーカー同士の情報共有や意見交換の場となっています。今回は、若年層の患者さまへの退院支援をテーマとし、患者さまご家族への関わり方へ活用できる社会保障制度等について意見を出し合い、議論しました。社会の変化に伴って、当院の入院患者さまが抱える課題はさらに多様化、複雑化していると感じています。今後も学びの機会を大切に、患者さまとご家族に寄り添った支援ができるよう精進してまいります。

医療ソーシャルワーカー 大村